



## G・W 連休がはじまります ～安心・安全な連休をおくるために～

もうすぐゴールデンウィーク（以下GW）が始まります。なんだか心も楽しい気分になりますが、気を緩めてはいけません。感染症対策や新しい学年に慣れてきた感じを忘れないためにも、しっかりとした生活を送ってほしいです。その生活の中で大切だと考えられることについてお知らせします。

まず何より大切なことは、「命を守る」ということです。交通事故、不審者への対応、感染症対策などがあります。交通事故では、毎年、小学生の様々な悲しい知らせを聞きます。4月の学校生活の様子を見てみると、危ない行動が見られる場面もありました。是非ともご家庭で以下の点について見守り、指導していただければと思います。

- ① 交通ルールを守ろう！
  - ・自転車に乗るときは、ヘルメットは必ずかぶり、危険な乗り方はやめましょう。（左側通行、横並び走行、手放し・傘差し運転はしない）
  - ・整備された自転車に乗りましょう。（ご家庭で点検をお願いします）
  - ・信号のない横断歩道や見通しの悪い所から道路へ出るときは十分気をつけましょう。
- ② みんなで使う場所の使い方を考え、危険な場所へ近付かないようにしましょう！
  - ・児童館や図書館など、みんなが使う場所は、他の人に迷惑がかからないようにしましょう。
  - ・危険な場所には立ち入らないようにしましょう。（空き家や工事現場、海や川など）
  - ・危険な遊びはやめましょう。（火遊び、高いところから飛び降りるなど）
- ③ 不審者に気をつけよう！
  - ・危険を感じたら「いかのおすし」を実践しましょう。

いか「いかない」	の「のらない」	お「おおごえでさけぶ」
す「すぐにげる」	し「しらせる」	



- ・万一の場合は、近くの大人などに助けを求めましょう。
- ④ ルールを確認しよう！
    - ・子どもたちだけで遊ぶ時は、「行き先」「帰宅時間」をお家の人に伝えるようにしましょう。
    - ・志賀小の「生活のきまり（4月初旬配付）」を守って行動しましょう。
    - ・やむを得ず人混みへ出かけるときは、お家の人と行動し、必ずマスクを着用しましょう。

### 【警察からの通知より「子どもに関する交通事故の特徴」】

- 5・6月にかけ、児童の歩行中、自転車乗用中の事故の割合が上昇している。
  - 児童の事故発生状況は、4割強が横断歩道のない道路の横断中である。
  - 歩行中の事故の原因は、飛び出しが4割弱で一番多い。
  - 自転車乗用中の児童の死者・重傷者は、安全不確認などの法令違反が8割。
- ※裏面に「交通ルール こんな危険に注意！」を載せてありますのでご覧ください。

### 連休中もよい生活リズムを心がけましょう！

新しい学年になり、4月中にはいろいろなことに頑張って取り組む姿が見られました。頑張ってきたことをGW明けにもいかせるよう、早寝早起きなどよい生活リズムの継続にご協力をお願いします。GW後も元気な姿で登校してほしいと思います。

# 交通ルール こんな危険に注意！

## 【止まっている車の後ろから渡らない】

止まっている車の後ろから、友だちのところに行こうと道路を渡ったら、反対側から走ってきた車とぶつかりそうになることがあります。

背の低い子どもは止まっている車の陰に隠れてしまい、ドライバーから見えなくなるので注意しましょう。

## 【横断歩道で止まらない車に注意】

手前の車が止まったので渡り始めたら、反対側の車は止まらずに走ってくる場合があります。

信号機のない横断歩道を渡るときは、左右の車が止まったことをしっかり確認して、目立つように手をあげて渡るようにしましょう。

## 【駐車場では決して遊ばない】

駐車場に止めてある車の間を走り回ったり、陰に隠れたりして遊ぶことはやめましょう。

駐車場は車が入ってくる所なので、ここでは遊ばないよう、友だちとも約束をしておきましょう。

## 【車が通りすぎても急いで渡らない】

車が通りすぎた後に急いで道路を渡ろうとしたら、反対側から来た車が目の前を走っていき、ヒヤッとすることがあります。

近道だからといって車が行き交う車道は渡らず、横断歩道など、決められた場所を探して道路を渡りましょう。

## 【道路への飛び出しは絶対にしない】

遊んでいるところから転がったボールを追いかけていたら、道路を走ってきた車とぶつかりそうになることがあります。

ボール遊びや追いかけっこなど、道路では遊ばない、飛び出さないことを、毎日必ず守るようにしましょう。

## 【信号の変わり目で渡らない】

青信号が点滅してから横断歩道を渡り始めたとき、途中で赤信号に変わってしまうと、交差点に入ってきた車やバイクとぶつかることがあります。

信号が変わり始めたら、次の青信号まで待ちましょう。

